



北アルプストレイルプログラム 飛騨側エリア

令和6年度 実証実験 実施内容について

令和6年12月12日（木）

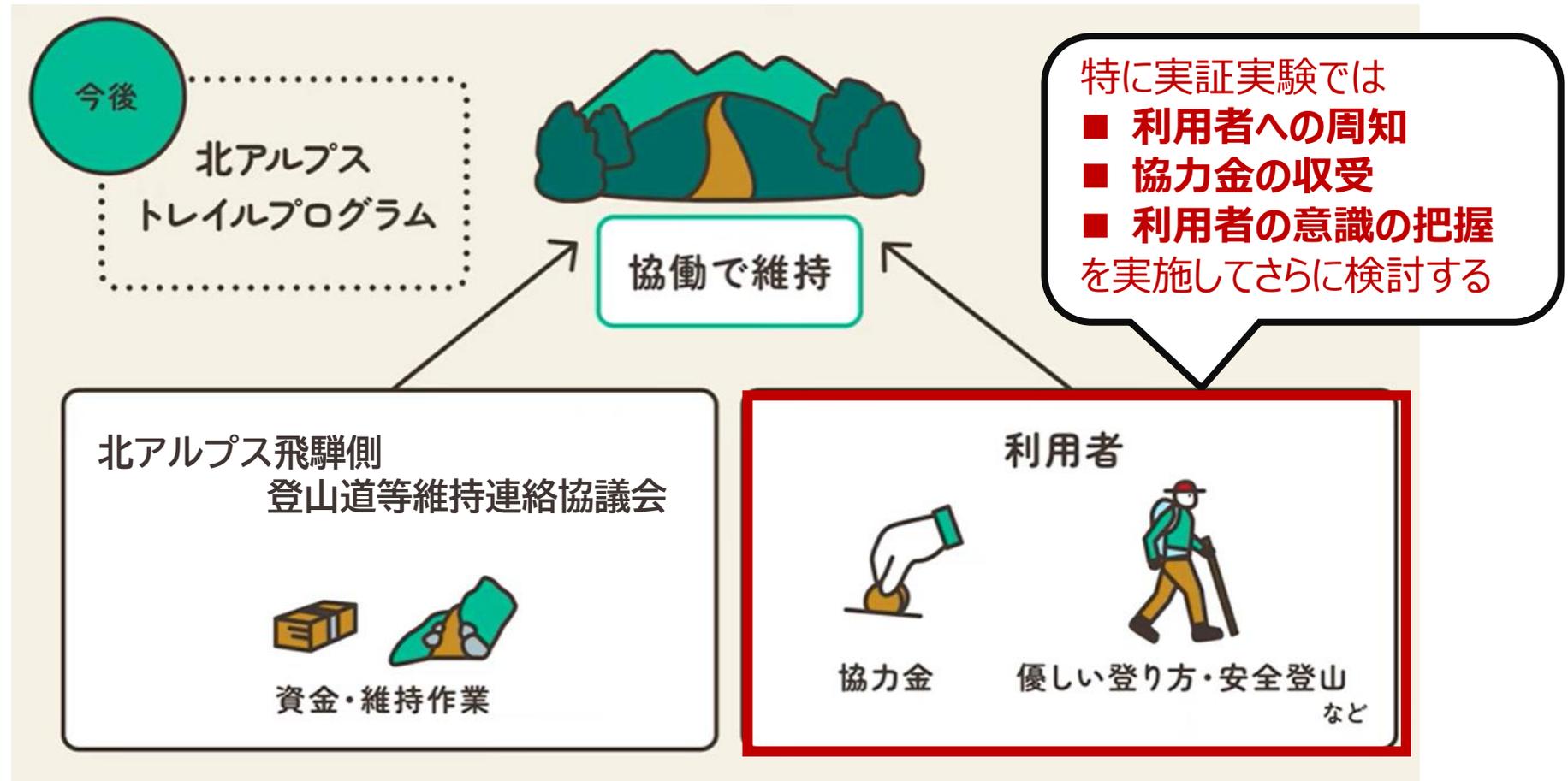
環境省 中部山岳国立公園管理事務所
作成：株式会社シード・プランニング（業務請負）



1. 北アルプストレイルプログラム概要
2. 周知方法
3. 協力金収受の結果
4. 登山者数のカウント結果
5. アンケート調査の結果概要
6. 登山道整備の維持管理方針リスト
7. モデル事業の実施検討

北アルプストレイルプログラム概要

- 利用者に登山道維持の現状を正しくお伝えしたうえで、利用者にも登山道維持の取り組みにご参加いただく機会を設けた新たな制度。
- 協力金の使途は、主に登山道の維持補修事業に活用予定。
- 実証実験では、利用者を含む関係者の理解促進、制度の仕組みの有効性の検討、制度の導入によって生じ得る影響や課題の抽出、制度の継続可能性について分析することを目的としている。



1.今年度検討課題

-  **利用者への周知**や**取組みへの理解**
取組み経緯や課題、対象地域など詳細についての情報発信方法
⇒**情報発信や公開方法について改善**。現地での広報、HP作成、SNS等での誘導等
-  **協力金收受方法**について**現金收受、銀行振込以外の検討**
⇒**クレジットカード決済の追加**、スマホアプリ、ICカードによる收受等についての検討
-  現金收受における**協力金支払場所**についての検討
⇒**山小屋での協力金收受場所の追加**
-  **協力金の使途、管理等透明性の担保**
⇒**使途の決定スキームや情報公開の方法についての議論が必要**
-  **維持管理作業者の不足**
⇒**登山道整備学習会の開催**を検討
-  **長野県側、富山県側との広域での連携**についての検討
⇒それぞれ受皿となる機関の体制や、取組み方法も違うなかで、**今後どのような連携**
が出来るのかについての議論

今年度検討内容と北アルプストレイルプログラム

北アルプストレイルプログラムの利用者参加内容

⇒今年度実施・検討内容

01

登山道維持の現状を知る

⇒情報発信や公開方法について改善。
現地での広報、HP作成、SNS等での誘導等

02

登山道に優しい登り方を心がける

03

ルールやマナーの遵守、安全登山を心がける

⇒登山行動の見直しについての発信。

04

実証実験についてご意見をお寄せください

⇒アンケート実施の結果を報告

05

登山道維持のための協力金の支払い

⇒協力金収受場所と使途の検討。
クレジットカード決済の導入。

06

登山道整備イベント等への参加

⇒維持管理作業者不足を解消するため
(山岳関係者向け) 登山道整備学習会の開催を検討

07

登山道の状況報告・共有

⇒webサイト内取組ページへ登山道情報の共有を検討
⇒登山道維持管理・整備状況リストの作成

2.1 周知方法

- ①現地で直接呼びかけるもの、②HP等オンラインで幅広く発信するものの大きく2種類について、複数の広告媒体を活用して情報を発信。また、山岳関係のマスメディア等への働きかけも可能な範囲で実施。

①現地での広告媒体：看板、ポスター、ラミネート、カード

②オンライン発信ツール：北アルプストレイルプログラムHP、山小屋交友会の各山小屋HP、SNS、関係者HP等

- なお、現地での広告媒体のうち、カード配布は利用者実態調査、山小屋での設置のほか、登山者が多い時期に集中配布。

①現地での呼びかけ

看板 カード ラミネート

チラシ ポスター

②現地以外での呼びかけ

ソーシャルメディア・Webメディア

SNS 山小屋HP

その他
インターネット

マスメディア

テレビ 新聞 ラジオ

書籍・雑誌

登山アウトドア
Web サービス・アプリ企業

2.2 周知方法-現地での呼びかけ

- 看板、ポスター、ラミネート、カードの4種類を提出・配布
- 広報媒体には、HP閲覧とクレジットカード支払い用のQRコードを掲出した。

表

裏

看板 (登山口等)



ラミネート (山小屋等)



ポスター (バスターミナル等)



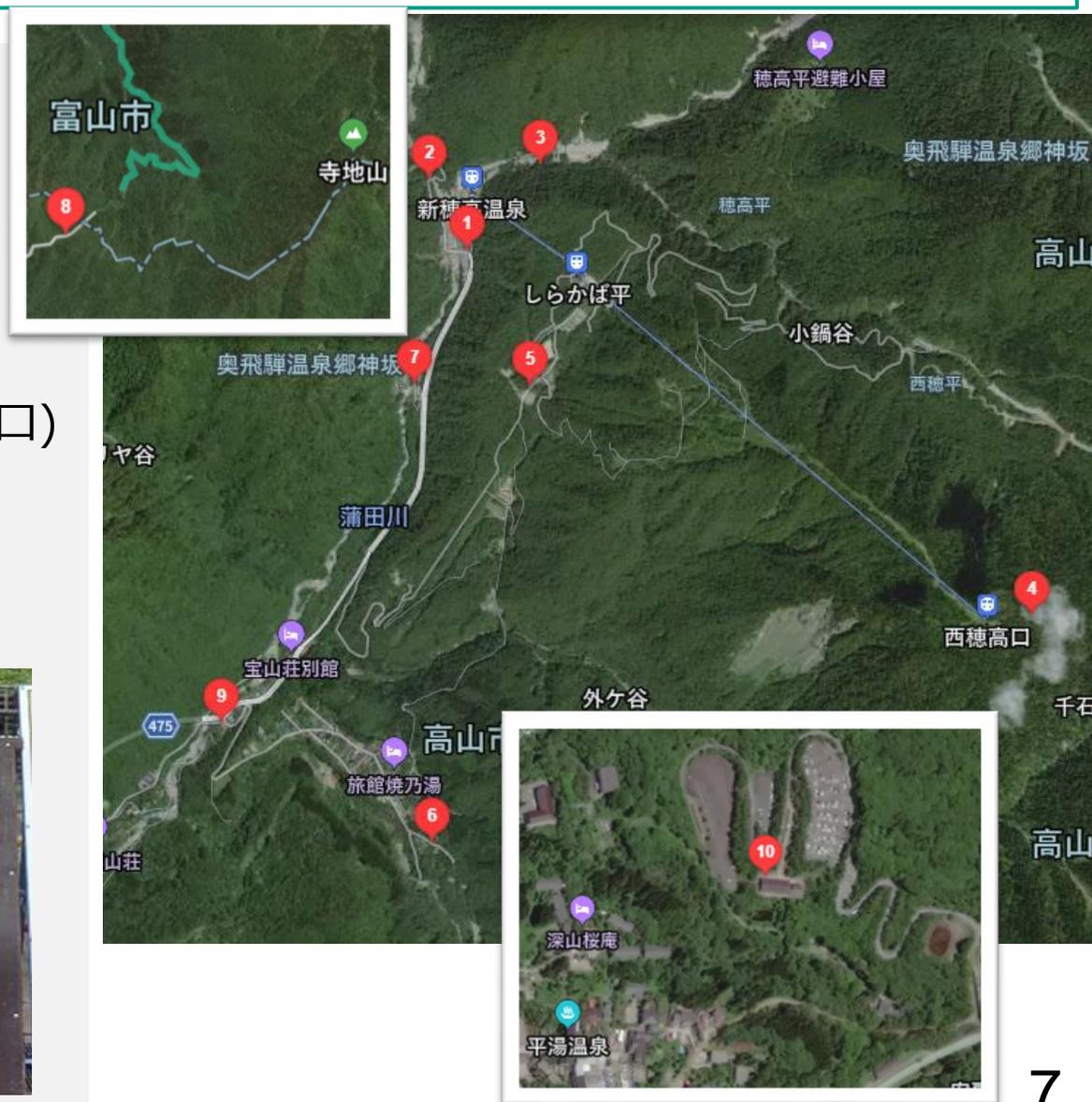
カード (山小屋等)



2.3 周知方法-看板

【看板設置場所】 主要な登山口、駐車場に設置

- ① 登山指導センター
- ② 左俣林道入口
- ③ 右俣林道入口
- ④ 新穂高ロープウェイ西穂高口
- ⑤ 鍋平高原(鍋平～登山指導センターへの歩道入口)
- ⑥ 中尾高原焼岳登山者用駐車場
- ⑦ 新穂高第3駐車場(登山者用駐車場)
- ⑧ 飛越新道登山口
- ⑨ 中尾高原口バス停
- ⑩ アカンダナ駐車場



2.4 周知方法-公式HPのリニューアル

- 7/13より公式HPをリニューアル。長野、岐阜、富山の3県合同でのページを開設した。



岐阜県、富山県、長野県各ページを追加
クレジットカード払いを追加



2.5 周知方法 長野県側・富山県側取組ページ

- 他県はTOPページアクセスの半数程度が協力金ページへアクセスされている。
- 岐阜協力金ページはTOPページアクセス数の3割程度しかアクセスされていない。
 - ➡岐阜県側ページでもお知らせ欄などで登山道情報等の情報発信などをおこなうのはどうか？

HPアクセス数（表示回数）

TOPページ	岐阜TOPページ	富山TOPページ	長野TOPページ
4779	1,018	2,743	1,440
岐阜協力金ページ	富山協力金ページ	長野協力金ページ	
	345	988	746

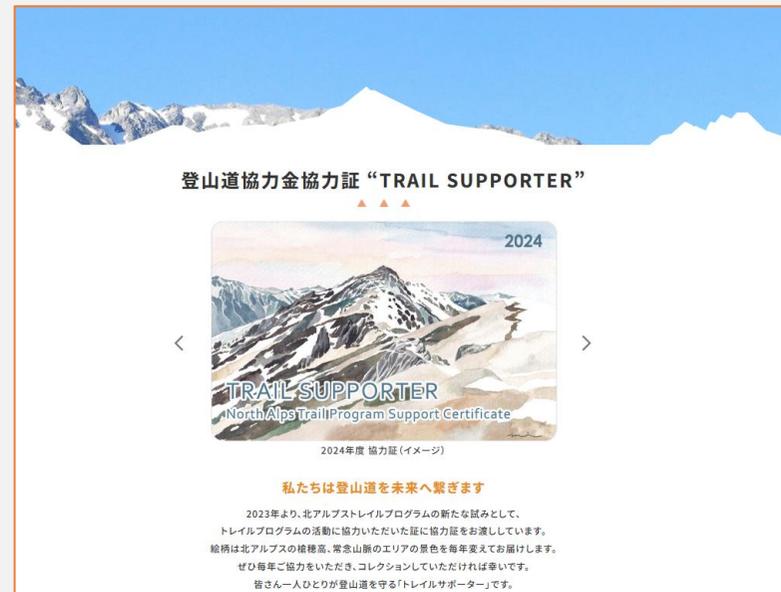
HPの流入経路は「槍ヶ岳山荘グループ」HPからのリンクが993と多い

富山県側のみ追加 登山道ブログページ



今年度から
富山県（立山地域）も実証実験開始

長野県側のみ追加 協力金協力証ページ



■ 岐阜新聞や中日新聞へ掲載された。



北アルプストレイルプログラムの協力を呼びかける看板
= 高山市奥飛騨温泉郷神坂、新穂高センター

↑ 岐阜新聞 (7/16)
中日新聞 (7/13) →

北アルプ



協力金を呼びかける看板を設置する環境省の職員 = 高山市奥飛騨温泉郷神坂で

北アルプスを巡る山道の維持に充てる協力金を集める「北アルプストレイルプログラム」が13日、岐阜県側で始まった。お金や人を出し合って山道を整備する山小屋などの負担を減らす狙い。10月31日まで、主要登山口や山荘などに募金箱を設置する。

日帰りやテント泊をする客からお金が落ちる仕組みがないことから、環境省などで作る「北アルプス飛騨側登山道等維持連絡協議会」が実証実験として昨秋に初めて実施。今回は、本格導入に向けた2度目となる。募金は一口500円からで、新たにクレジットカードでの決済も受け付ける。...

周知方法 各種メディア



■ YAMAP、ヤマケイオンライン、日本山岳会HPなどに掲載された。

YAMAP(9/4)

YAMAP プレミアムにアップグレード

活動日記 モーメント 地図 山の情報 保険 ストア トラベル マガジン ふるさと納税

岐阜旅STYLE
2024.09.04(水)

【ご協力お願いします】あなたのワンコインが北アルプスの登山道を守る！

中部山岳国立公園を訪れる登山者の方が安全に登山を楽しんでいただくためには、登山等の維持が欠かせません!!
ただ近年、土砂災害の増加や作業の人手不足等により、これまでのような登山道維持は年々厳しくなっています🌧️
つまり山小屋関係者や行政等の地域関係者だけで維持していく仕組みは限界にきております🙏

そこで、登山者の方にも登山道等の維持に「参加」していただけるプログラムを岐阜県側でも実施しています😊

その名も「北アルプストレイルプログラム」

北アルプスの登山環境を未来の登山者に受け継ぐために、当プログラムの趣旨にご賛同いただける方は、ぜひご協力をお願いします🙏

＜実施期間＞7/12(金)～10/31(木) 予定
＜金額＞1回の登山につき500円/口※希望の口数
＜支払方法＞①山小屋での現金収受箱
②銀行振込

●利用者アンケートの広報
ヤマケイオンライン バナー広告(8月)・メルマガ広告(8/8,9/26)
日本山岳会HPへの掲載

山の日 TOKYO 2024 第8回「山の日」全国大会
八王子駅周辺で開催! 8/10-11 歓迎フェスティバル 8/11 記念式典

北アルプストレイルプログラム
登山道維持のための協力金についてアンケートを実施中
登山者の声をお聞かせください
アンケートはこちら▶

【PR】北アルプスの登山道維持に関するアンケート2024(環境省)

「北アルプストレイルプログラム」とは、北アルプスの登山道を未来に繋げるために、登山道維持に関わる取組に登山道を利用する皆様にも参加していただき、利用者参加型のプログラムです。
長野県側(槍穂高(長野県側)、常念山脈エリア)では、令和3年より試行的に取組を開始し、令和5年より本格導入に至っております。また、岐阜県側では令和5年より実証実験を行い、富山県側では令和6年より実証実験を行い、本格導入に向けた検討を進めております。
つきましては、取組の参考とするため、皆様のご意見をお寄せください。
アンケートフォーム
forms.gle/4pX2jN6CHTwnPeKs7
参考(北アルプストレイルプログラムの取り組み内容)
URL: nationalpark-japanesealpestrail.jp/

公益社団法人 日本山岳会
The Japanese Alpine Club

HOME 活動紹介 概要/本部・支部情報

HOME > 日本山岳会からのお知らせ > 「北アルプス登山道維持に関するアンケート」のお願い

「北アルプス登山道維持に関するアンケート」のお願い

お知らせ

- 日本山岳会からのお知らせ
- 首都圏イベント情報
- 登山関連ニュース

北アルプスの登山道維持に取り組んでいる北アルプス登山道等維持連絡協議会から、下記、アンケートの依頼がありました。
北アルプス登山道等維持連絡協議会(長野県側、岐阜県、富山県)では、北アルプスの登山道維持の実態を理解していただくとともに、維持にかかる費用の一部について登山道を利用する皆様にもご協力いただく仕組みとして「北アルプストレイルプログラム」(＝利用者参加制度)の導入を検討しています。
「北アルプストレイルプログラム」をより良いものにしていくため、是非皆様のご意見をお寄せください。
環境省の「北アルプスの登山道維持に関するアンケート2024」にご回答ください。
以下のURLをクリックいただきアンケートフォームでご回答いただけます。
<https://forms.gle/4pX2jN6CHTwnPeKs7>
北アルプス登山道等維持連絡協議会
(参考) 北アルプス登山道等維持連絡協議会 北アルプストレイルプログラム
<https://nationalpark-japanesealpestrail.jp/>

3.1 協力金の収受結果

- 今年の協力金はおよそ60万程度。現地調査での直接収受が多い結果となった。
- 今年度導入したクレジットカード払いの利用も多く、支払方法の多様化も今後の課題。



- ① 登山指導センター
- ② 新穂高ロープウェイ
西穂高口
- ③ 笠ヶ岳山荘
- ④ 穂高岳山荘
- ⑤ 南岳山荘
- ⑥ 焼岳山荘
- ⑦ 西穂山荘
- ⑧ 槍ヶ岳山荘
- ⑨ 槍平小屋
- ⑩ 穂高平避難小屋

実施時期：2024年 7月～10月

	総額
山小屋等の協力金箱	132,855円
銀行振込	8,000円
クレジットカード払い	220,641円
現地調査での簡易協力金箱	255,853円
合計	617,349円

R5年度 繰り越し金 31,169円

【協力金収受に関して】

- ・オンライン決済は1名から10万円の寄付があった他は、500～1,000円が最も多かった。
- ・現地PRでの協力金は、一人あたり100円～1000円程度の寄付が多かった。

3.1 協力金の使途案

- **登山道整備にかかる日当の調整**
日当の調整を行って、調整前の金額に調整する。
- **運送費用や道具や物品の購入補助**
整備物品にかかる運送費用の補助や共同使用の物品購入費の補助。
- **荒れている一部の登山道区間を集中的に整備する**
整備が難しい場所を集中的に整備する。今後のPRに使用する。
- **登山道整備講習会の実施**
維持管理のための人材の確保、育成。利用者参加型講習会の実施。
- **外国語の標識や案内板を設置**
海外旅行者のマナーや安全性向上、トレイルプログラムの周知。
- **北アルプストレイルプログラムの岐阜側PR活動**
協力証など記念品作成や広告費用への使用。



4.1 登山者数カウント調査-調査概要

- 当該地を訪れる利用者の動向を把握するためのモニタリング調査と解析を実施した。
- 8～10月の計6日間に1～3箇所（1人/箇所）の登山口において、カウンターを用いた調査を行った。
- 調査地点は笠新道分岐、白出沢分岐、西穂高口（新穂高ロープウェイ）の3箇所
- 環境省の赤外線カウンター設置地点に調査員を配置し、各時間帯の入山者数及び下山者数を数取機でカウントし、実測値を計測した。

調査地点	①笠新道分岐(左俣林道) ②白出沢分岐(右俣林道) ③西穂高口（新穂高ロープウェイ）
調査日	8月17日-18日 9月22日-23日 9月21日、10月13日
調査時間	6:30-14:30



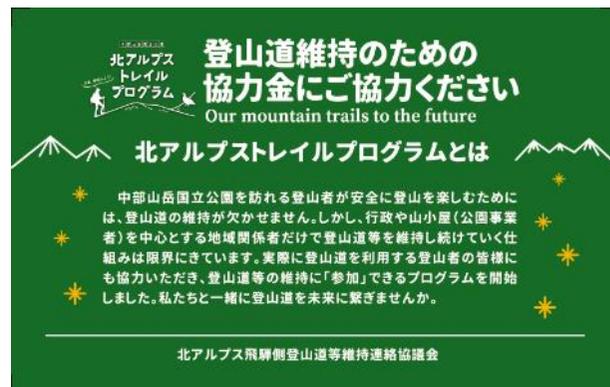
※ 9月21日、10月13日は西穂高口のみで実施。
8月17-18日、9月22日に悪天でロープウェイが終日運行停止となったため。

4.2 登山者数カウント調査-カード配布と簡易協力金箱設置

- 登山者カウント調査に伴い、調査員から登山者へ簡単な説明とカード配布を実施した。
- 利用者からその場で協力金の申し出があったため、今年度から簡易協力金箱も用意した。

	カード配布枚数	現地収受の協力金 (内訳)
①笠新道分岐 (左俣林道)	900枚	79,026円
②白出沢分岐 (右俣林道)	240枚	20,992円
③西穂高口 (新穂高ロープウェイ)	1,200枚	150,835円
合計	2,340枚	250,853円

カウント調査とカード配布の様子



配布したカード



簡易協力金箱

4.3 登山者数カウント調査-自動カウンター測定値の月別利用者数(人)

■ 自動計測カウンターで計測した月別利用者は下記のとおりである。

		7月	8月	9月	10月	11月	合計
笠新道分岐 (左俣林道)	入山者数	1,881	3,517	3,070	1,474	107	10,049
	下山者数	1,696	4,628	3,459	1,878	104	11,765
白出沢分岐 (右俣林道)	入山者数	644	1,337	1,201	647	80	3,909
	下山者数	693	1,684	1,442	787	99	4,705
西穂高口 (新穂高 ロープウェイ)	入山者数	-	8,706	7,008	6,622	419	22,755
	下山者数	-	8,179	6,017	6,167	497	20,860
横尾 (涸沢 方面)	入山者数	-	4,910	7,688	9,019	229	21,846
	下山者数	-	6,290	8,403	10,551	300	25,544

※計測期間は、笠新道分岐 (左俣林道) と白出沢分岐 (右俣林道) 7月18日～11月14日、
西穂高口ロープウェイ 8月1日～10月29日、11月5日～11月8日、
横尾 (涸沢方面) 8月6日から10月31日、11月1日～11月6日

4.4 登山者数カウント調査-結果

- 登山者カウンターによる計測値の精度を確認するため、調査員・数取機による実測値をとった。その上で、

$$\text{捕捉率} = \frac{\text{カウンターによる計測値}}{\text{調査員・数取機による実測値}}$$
 を算出し、調査期間での平均値を算出した。
- 笠新道分岐(左俣林道)は道幅が広く登山者が横一列になりやすいため、捕捉率は51.7%と低かった。
- 白出沢分岐(右俣林道)と西穂高口（新穂高ロープウェイ）のカウンター計測値は比較的精度が良かった。

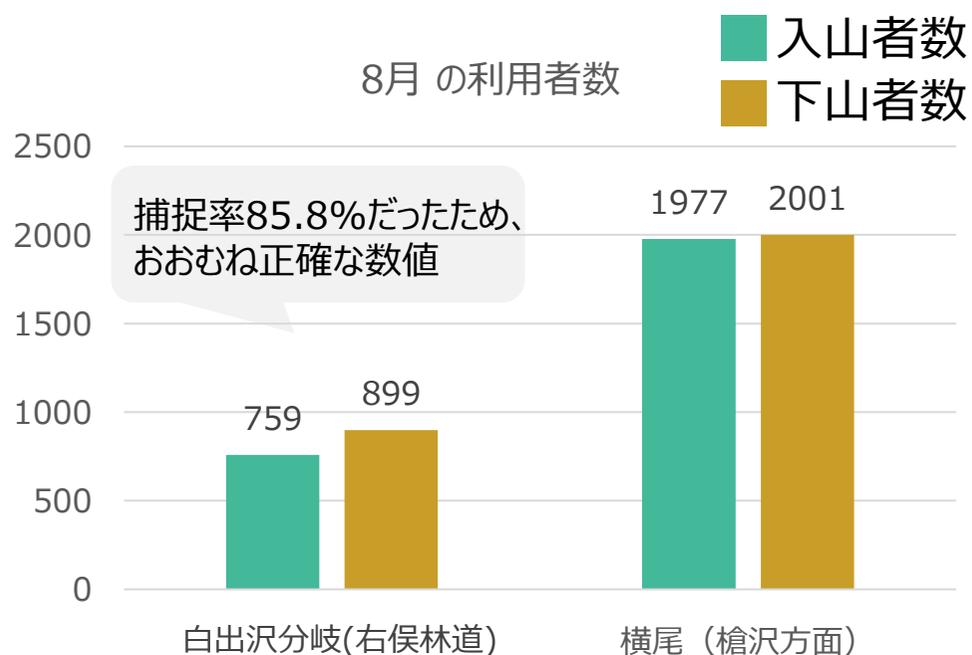
調査期間中のカウンターでの測定値と実測値、捕捉率

	調査期間	入山者数		下山者数		捕捉率(%)
		カウンター	実測値	カウンター	実測値	
①笠新道分岐(左俣林道)	8/17,18,9/22,23	343	727	344	590	51.7
②白出沢分岐(右俣林道)	8/17,18,9/22,23	111	187	113	146	85.8
③西穂高口 (新穂高ロープウェイ)	9/21,23,10/13	921	913	633	623	106.2

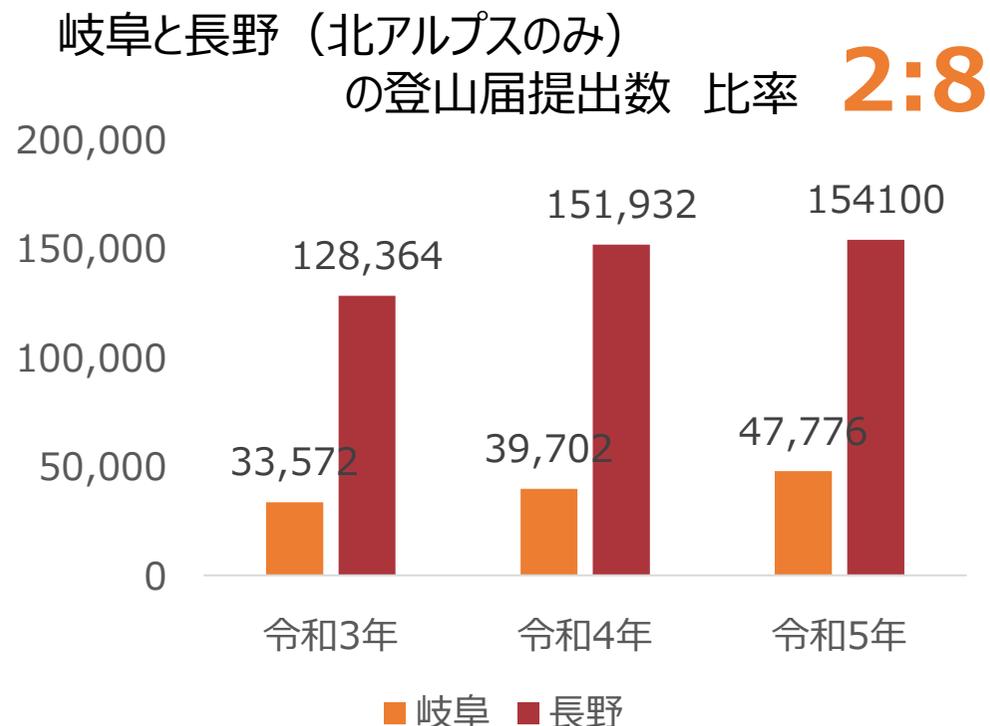
調査員のカウントもれの可能性。
 調査員が説明している間に人が多く通り過ぎてしまった

4.5 登山者数カウント調査-長野県側との比較

- 長野など県境をまたがる稜線沿いでの協力金収受は、両県の登山道の利用者数を基に今後、長野側協議会と協議する必要がある。
- 8月の槍ヶ岳の登山者数を長野側（槍沢方面）、岐阜側（白出沢出合）から比較したところ、岐阜の登山者数は長野側の半数程度だった。
- 今回、西穂高については、上高地側のデータ欠損により、長野県側との比較は出来なかった。
- 参考までに登山届数で比較をすると、岐阜：長野の登山届での比率はおよそ2:8。



※横尾カウンターが正常に稼働していた期間（8/7-8/19）のみの値で比較



長野県令和5年度登山計画書の届出状況、令和4年 山岳白書（令和5年3月発行）から数値を引用し、比率を出した。

5.1 アンケート調査-概要



実施概要

調査名称 北アルプスの登山道維持に関するアンケート2024

目的 利用者参加者制度〔北アルプストレイルプログラム〕に対する利用者（登山者）の意識・意向を把握し、持続可能な制度運用にかかる改善点を検討する。

検討主体 環境省中部山岳国立公園管理事務所

対象者 ①北アルプス地域の登山道を利用する登山者
②上記の登山道の維持にご協力いただけるすべての方

今年は岐阜側だけではなく、
北アルプス全域の利用者を対象とした

期間 2024年7月12日～10月31日

方法 オンライン自記式調査

調査項目 現状の課題に対する認知/協力してもよい行動/取組への認知/認知のきっかけ/支払い意向/登山属性/基本属性/意見・感想

掲載媒体 山と溪谷社HPと会員メルマガ、日本山岳会HP、山小屋HPとSNS、YAMAP

7月-10月実施 N=696

①北アルプスの登山道維持で生じている問題について

- 現状の課題に対する認知 → アンケート回答者のうち7割が知っていた。
- 協力してもよい行動 → 「登山道を傷めないようにする」「登山道維持のために継続的に少額の寄付金を支払う」「ゴミを拾う」といった身近な行動が多い。

②「北アルプストレイルプログラム」について

- 取組実施の認知度 → 47%が「知らなかった・今初めて知った」
- 認知のきっかけ → 山小屋をきっかけに知った人が多い。

②協力金の支払意思について

- 寄付金の支払い意向 → [500円～1000円]支払うが最も多い。
- 支払う方法について → 「スマートフォン決済」が最も多い。

③登山動向・基本属性

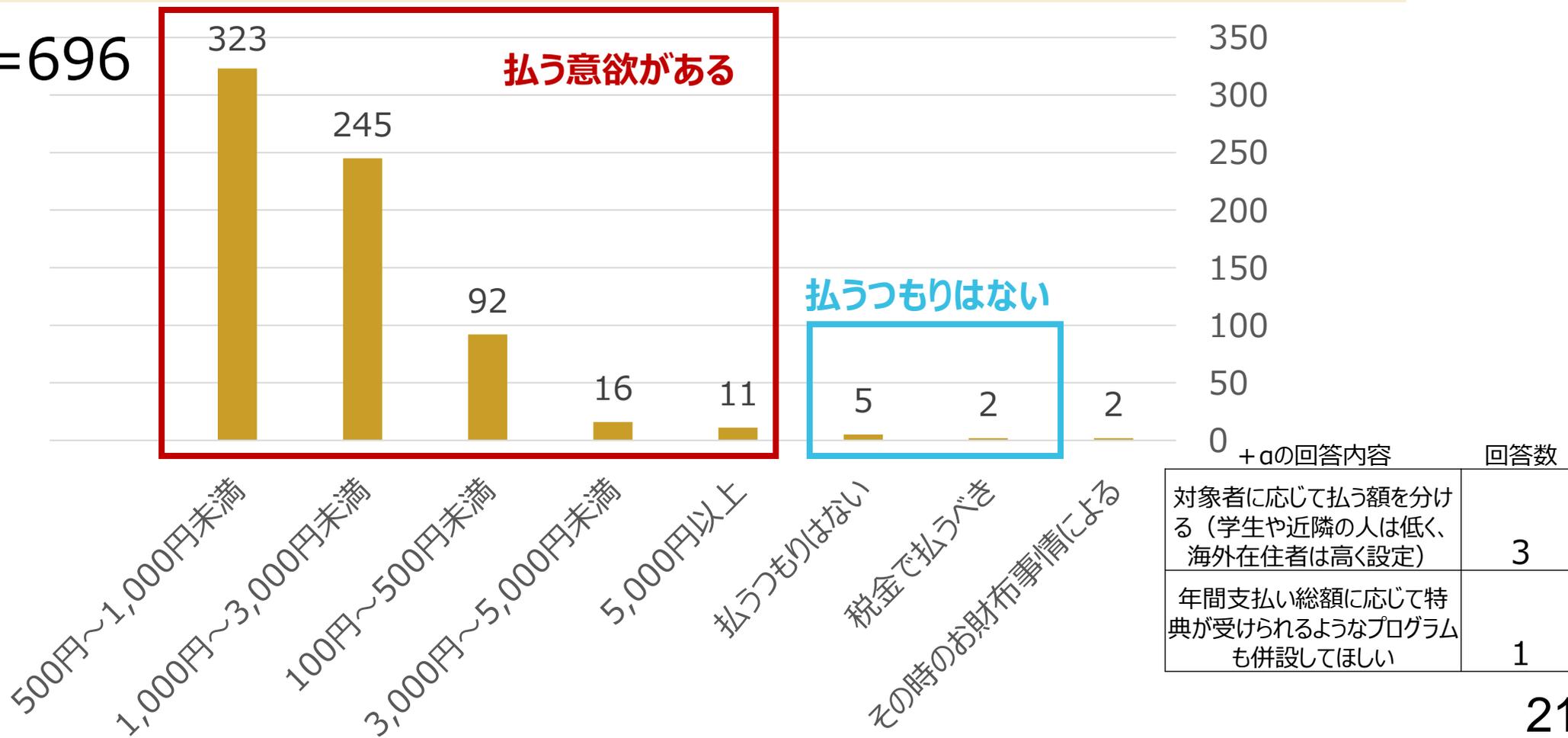
- 実験期間中の現地訪問有無 → 「月に1回程度」が約3割、次いで「ほぼ毎週」も約2割程度。
- 性別 → 男性が6割
- 年齢 → 50代、60代がそれぞれ約3割であり最も多い。

5.4 アンケート調査-調査結果 (Q5)

- 回答者の99%は支払いの意欲があり、支払に反対する意見は全体の1%以下であった。

Q5.今回は、一口500円のお支払いを基準としていますが、導入や金額は関係者で検討しています。今後、あなたが北アルプスで登山をする時、登山道維持協力金として、1人1回の登山につき、いくら支払ってもよいと思いますか。(1つだけ)

N=696



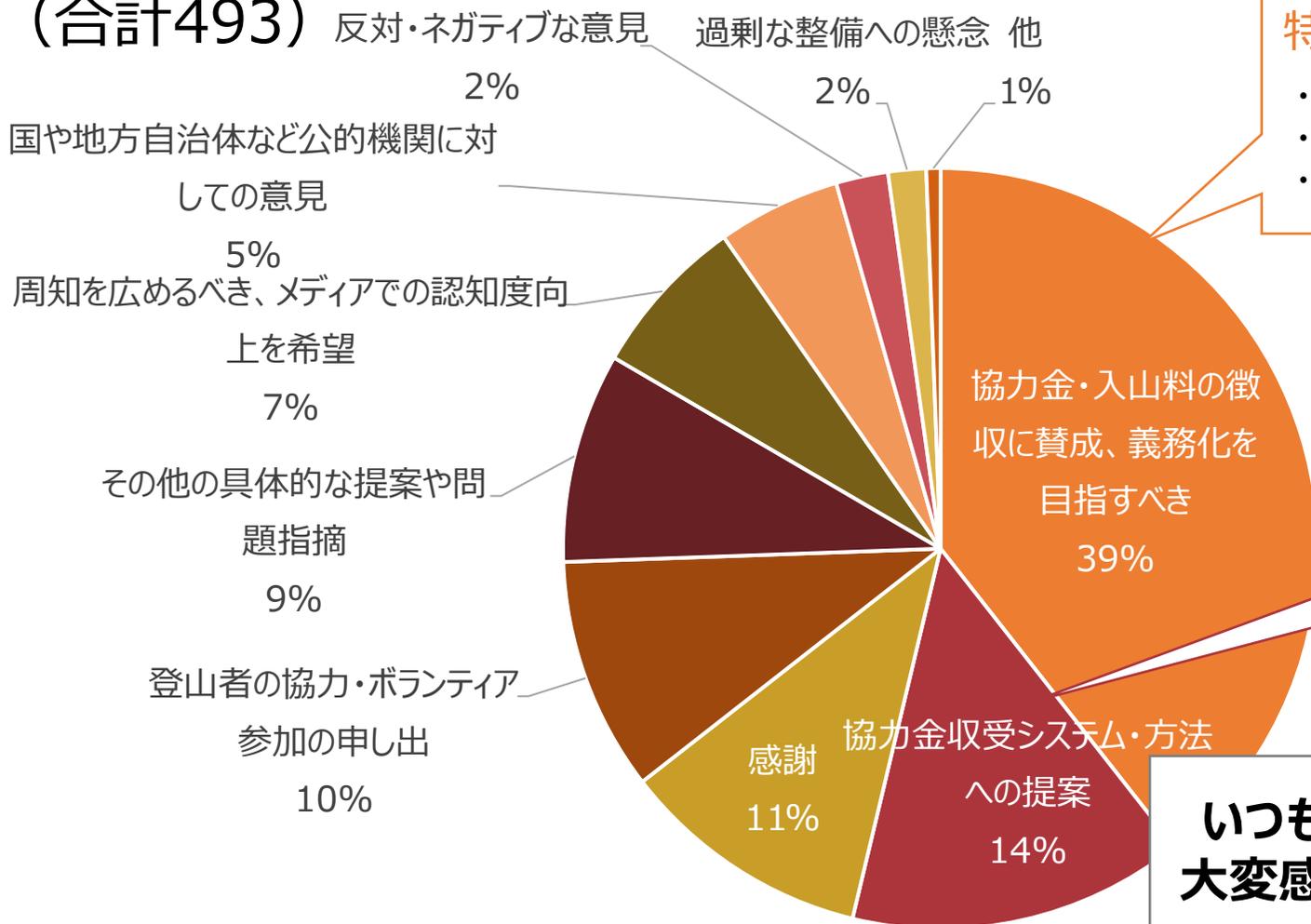
5.5 アンケート調査-調査結果 (Q12)

- 自由回答にも、利用者の協力金徴収は賛成の上で、公平性や用途の公開などが求められていた。
- また、協力金証明証カードや記念品を長野地域以外でも求める意見もあった。

Q12.北アルプスの登山道維持の問題や今回の取組「北アルプストレイルプログラム」に関するご意見や感想、登山道の状況についてのご意見があれば、ご自由にお書きください。(内容をタグ付けし複数回答として集計)

N=342

(合計493)



特に多いご意見

- ・利用料を支払うのは当たり前だと思う
- ・宿泊料に含めるなど公平に徴収してほしい
- ・お金の用途や収支の公開してほしい

特に多いご意見

- ・入山料に差をつける (リピーター、学生、外国人)
- ・年間パスポートのようなものを作る
- ・協力証カードや記念品を立山地域や他地域でも作ってほしい

いつも登山道整備、大変感謝しています！



6.1 登山道維持管理状況リスト-作成

- 飛騨側登山道を維持管理している行政・山小屋 9 団体へヒアリングを実施した。
- ヒアリングで、登山道の整備の現状、利用状況や自然環境の問題点等を把握した。
- 各路線の整備・維持管理の方針、整備の優先順位を検討する。
- 今後、各路線の現況については、次年度以降も引き続き、協議会での情報共有などを通じて情報を更新・充実しながら、必要に応じてランクも見直す

SEQ	公園管理	公園計画路	公園計画路線名称	登山道の通称	区間		作業状況	公園事業執行者	清掃・点検・刈払い等の主な実行者(登山道維持管理者)	施設・自然環境の保全上の問題点				利用体験ランク(ランク1~ランク4)	保全対策ランク(ランクA~D)	今年度の(通年の)刈払い等の実施内容	来年度の刈払い等実施予定	実施体制	整備方針	維持管理方針	優先順位	
					起点	終点				施設・登山道の問題点		周辺自然環境の問題点										
1	平湯	59	新穂高温泉・弓折岳線	左俣林道	新穂高温泉	笠新道登山口	実施中	無し	わさび平小屋・森林管理署(北陸電力)	小	特記なし	小	特記なし	大	1	D	林道の巡視や、軽微な落石や倒木の除去と、草刈りや水切り。中崎橋までの林道で大きな落石は北陸電力が除去し、毎年シーズン前後の計2回、山小屋スタッフ2~3人で草刈りを実施している。		わさび平小屋・森林管理署(北陸電力)			
2	平湯	67	笠新道線	笠新道	笠新道登山口	杓子平	実施中	高山市	笠ヶ岳山荘		記なし	小	特記なし	大	3	C	高圧電線が架かっている。		笠ヶ岳山荘			
3	平湯	67	笠新道線	笠新道	杓子平	笠新道分岐				小	特記なし	小	特記なし	大	3	D	点検を実施している。		笠ヶ岳山荘			
4	平湯	58	笠ヶ岳山荘線	笠ヶ岳山荘線	笠新道分岐	笠ヶ岳				小	特記なし	小	特記なし	大	3	D	実施していない。		笠ヶ岳山荘			
5	平湯	58	笠ヶ岳山荘線	クリヤルート	笠ヶ岳	雷鳥岩	実施中	無し	笠ヶ岳山荘	大	刈払いが必要な箇所がある。現在通行止め。	小	特記なし	小	3	B			組織的な維持管理はされていない。			

現況についても協議会での情報共有を通じて、更新・充実し、必要に応じてランクも見直し

現況やランクをもとに整備・維持管理方針を立案

登山道維持管理状況リスト-ランク付け

- 登山道の特性・利用状況・自然環境等をよりわかりやすくするために2種のランク付けを検討した。
- ヒアリングから、区間ごとの利用者体験ランクと保全体験ランクを設定、登山道の特性を把握した。
- 利用者体験ランク：歩道の性格や想定される利用者のレベル（自然条件や立地、利用状況）や自己責任で行動判断を行う5段階の目安
- 保全対策ランク：登山道周辺の植生の保全の必要性、登山道荒廃の程度や整備状況の4段階の目安

● 利用体験ランク評価方法

		ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1
行動判断の要求度・難易度						
評価項目	天候悪化時のリスク回避の難易度	高い				低い
	登山口のアクセス	高い				低い
	登山施設の充実度	簡素				充実
	維持管理の程度	低い				高い
登山体験の程度						
評価項目	環境の雰囲気	原生的・原始的			都市的・人為的	
	利用密度	低い				高い
	利用の雰囲気	静か				にぎやか
	登山のレベル	挑戦的				手軽
利用想定対象者		登山者			観光客含む	

● 区間選定の考え方

- ・施設の整備状況
- ・維持管理体制
- ・利用規模

周辺自然環境の雰囲気等が異なる主要な分岐点毎に区切り、それを利用者体験ランクの評価単位とした。

詳しいランク付けは配布資料にて再度ご確認ください。

7.1 モデル事業案-労働力の確保

- 継続維持できる負担の少ない確実性のある労働力体制を確立する
- 座学等の研修で担い手を確保する
- 負担を減らすためには出来るだけ民間企業を活用していくことが望ましい。
- 行政から山小屋に依頼するだけでなく第三者が介入できる体制を整えるべき
- 維持管理に関して外注可能な部分は外注にする
- 関係者の負担を明らかにする
- 登山者への情報発信、点検等作業の効率化の観点から、登山道の状況や作業の実施状況等については、情報共有や連携が望ましい。
- 協議会にて、会員が実施する登山道・探勝路に関する主な取組内容と結果を報告（会員より報告・共有）

人材の担い手の不足、高齢化が深刻であるため、人材の確保・育成が急務

<情報収集・とりまとめのイメージ>

SEQ	公園管理	公園計画路	公園計画路線名称	登山道の通称	区間		公園事業執行者	清掃・点検・刈払い等の主な実施者	施設・自然環境の保全上の問題点			
					起点	終点			施設・登山道の問題点	周辺自然環境の問題点		
1	平湯	59	新穂高温泉・弓折岳線	左俣林道	新穂高温泉	笠新道登山口	無し	わさび平小屋・森林管理署(北陸電力)	小	特記なし	小	特記なし
2	平湯	67	笠新道線	笠新道	笠新道登山口				小	特記なし	小	特記なし
3	平湯	67	笠新道線	笠新道	杓子平				小	特記なし	小	特記なし
4	平湯	58	笠・抜戸岳縦走線	笠ヶ岳縦走路	笠新道分岐	笠ヶ岳	高山市	笠ヶ岳山荘	小	特記なし	小	特記なし
5	平湯	58	笠・抜戸岳縦走線	クリヤ谷ルート	笠ヶ岳	雷鳥岩	無し	笠ヶ岳山荘	大	ハイマツの刈払いが必要な箇所がある。現在通行止め。	小	特記なし
6	平湯	58	笠・抜戸岳縦走線	クリヤ谷ルート	雷鳥岩	クリヤ谷最終水場	無し	笠ヶ岳山荘	大	笹の繁茂が顕著であり、ルートが不明瞭のため、現在通行止め。	小	特記なし
7	平湯	58	笠・抜戸岳縦走線	クリヤ谷ルート	クリヤ谷最終水場	錫杖沢出合	無し	笠ヶ岳山荘	大	笹の繁茂が顕著であり、ルートが不明瞭のため、現在通行止め。渡渉箇所が	小	特記なし

状況に変化が生じた場合は記載内容を修正

今年度の(通年の)刈払い等の実施内容	来年度の刈払い等実施予定
林道の巡視や、軽微な落石や倒木の除去と、草刈りや水切り。中崎橋までの林道で大きな落石は北陸電力が除去してくれ毎年シーズン前後の計2回、山小屋スタッフ2~3人で草刈り・点検を1週間程度実施している。	
実施していない。	
実施していない。笠ヶ岳山荘が最後に草刈りをしたのは3年前で、この区間だけでも草刈りに4日はかかる。	
実施していない。笠ヶ岳山荘が最後に草刈りをしたのは3年前。	

点検等を実施した区間に主な実施内容を記載

7.2 モデル事業案-学習会の検討

- 登山道整備担い手の育成のために、リーダー学習会の実施を検討している。

令和6年度 登山道整備リーダー学習会

北アルプストレイル飛騨側地域で、山岳関係者や登山道整備に関わる人々の登山道維持・整備のための知識の共有・技術スキル向上と連携の強化を目指す。

次回、地域意見交換会の同日に、他県での整備事例や効果的な整備方法についてお話しいただく。

日時：2月中旬 1時間程度

会場：未定

参加費：無料 事前申し込み式

参加対象者：山岳関係者、登山道整備の経験がある方

講師案：長野県・富山県で長年活躍される山小屋関係者の方（例えば、マウンテンサポートカシマ 加島博文さん
北杜山守隊 花谷泰広さんなど）





中部山岳国立公園

Chubusangaku National Park